

現任の方の
スキルアップに！

平成30年度 北海道介護支援専門員 専門研修ⅠⅡ募集要領

平成30年3月

証の更新にも使えます

一般社団法人北海道総合研究調査会(HIT) (北海道知事による指定法人)

北海道内で現在、介護支援専門員として就業している方に対し、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識、技能の習得を図り、介護支援専門員としての資質や専門性を高めることを目的として「専門研修Ⅰ」および「専門研修Ⅱ」を開催します。

専門研修Ⅰと専門研修Ⅱの両方の修了証を使って介護支援専門員証の更新申請を行うことができます。更新の年度より前から受講することができ、繰り返し受けることもできますので、余裕をもって更新の準備をしながら、定期的にスキルを磨くことのできる研修です。

1 対象者

1. 専門研修Ⅰ：原則として、現在、北海道内で介護支援専門員として実務に従事※しており、就業後6か月以上の者。効果的にその専門性を高めるためには、就業後3年以内に受講することが望ましい。
2. 専門研修Ⅱ：原則として、現在、北海道内で介護支援専門員として実務に従事※しており、専門研修Ⅰを修了している就業後3年(36ヵ月)以上の者。

※以下①～⑧の事業所又は施設において介護支援専門員として就労している方を指します。

①居宅介護支援事業所 ②特定施設入居者生活介護に係る居宅サービス事業者 ③小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護及び地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護に係る地域密着型サービス事業者 ④介護保険施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設) ⑤介護予防特定施設入居者生活介護に係る介護予防サービス事業者 ⑥介護予防小規模多機能型居宅介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護に係る地域密着型介護予防サービス事業者 ⑦介護予防支援事業者 ⑧地域包括支援センター

*上記のいずれかで就労していたとしても、単に要介護認定の調査事務のみを行っている場合や、利用者やサービス提供事業者との連絡調整だけを行っている等、サービス計画作成業務を行っていない場合は対象外です。

2 研修内容・受講料

| 研修名/時間数 | 受講料 | テキスト・資料代 | 合計 |
|---------------|---------|----------|---------|
| 1. 専門研修Ⅰ/56時間 | 25,500円 | 2,800円 | 28,300円 |
| 2. 専門研修Ⅱ/32時間 | 18,900円 | 2,300円 | 21,200円 |

- ・受講決定通知書送付の際、請求書を同封します。集合研修初日の受付にて現金でお支払いください。
- ・受講料は北海道保健福祉部手数料条例に基づきます。テキストは受講者見込み数から価格を割り出していますので全員ご購入ください。専門研修Ⅰテキストは研修初日に会場で配付し、専門研修Ⅱテキストは集合研修の約1か月前に郵送します。
- ・専門研修Ⅰ・Ⅱは、それぞれ更新研修(実務経験者)前期・後期と同じプログラムのため、合同の会場で受講していただきます。

4/23×切

3 申し込み方法

受講申込書(専門Ⅰ、専門Ⅱ)と介護支援専門員証のコピーを郵送して下さい。本要領・プログラム・日程表をよく読み、受講申込書(専門Ⅰ、専門Ⅱ)に必要な事項を記入し、介護支援専門員証のコピーを添えて、必ず郵送で下記の研修事務局まで送付してください。

締め切り：平成30年4月23日(月)必着

- ・電話・FAX・Eメール・事務局への持参による申込みは固くお断りします。
- ・事前の申し込みをしていない場合や、申し込みをしていても受講決定通知書を受け取っていない方は、研修会場に来場しても受講することはできません。

4 受講の決定

5月7日(月)～9日(水)内にご自宅あてに受講決定通知書・請求書・会場案内図を郵送します(受講対象外の方にも必ず連絡します)。通知が届かない場合は、5月末までに下記へお問い合わせ下さい。なお、受講の決定に際しては平成31年12月末頃までに介護支援専門員証が有効期間満了日を迎える(更新手続きが必要な)方を優先させていただく場合があります。

5 更新研修として活用する方へ

専門研修ⅠとⅡは、更新研修(実務経験者)の〔前期〕と〔後期〕に相当し、介護支援専門員証の有効期間内に専門研修Ⅰ(又は更新研修前期)と専門研修Ⅱ(又は更新研修後期)の2つの研修を受講することにより、証の更新手続きを行うことができます。

(注) 自動的には手続きされませんのでご注意ください。手続きは介護支援専門員証の有効期間満了日の1年前から申請することができます。

6 申込み・問い合わせ先

一般社団法人 北海道総合研究調査会(略称：HIT(ヒット)) ケアマネ研修 係
〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館3階 TEL 011-222-7330 (直通)
受付時間：9～17時(土日祝祭日及び8/11～15・12/29～1/6を除く) URL <http://www.hit-north.or.jp/care/>

7 e-ラーニングについて

平成 28 年度のカリキュラム改定により研修が長時間化したのを受け、北海道では一部の課目に e-ラーニング*1)を導入し、集合研修*2)と組み合わせて実施します。

*1) e-ラーニングとは、インターネットを介して自宅や職場のパソコン等を使って受講する学習方法です。

*2) 集合研修とは、指定された日時・会場に受講者が集まって受講する研修方式です。

介護支援専門員 専門研修 I

[集合研修 34 時間 45 分 (5 日間)] + [e-ラーニング 21 時間 15 分] = 56 時間の履修により修了します。

プログラム (各会場の日程は次項をご覧ください)

1 集合研修 1 日目 (6 時間)

| | | | | | | |
|------|--------|----------------------------------|-----------|----------------------------------|--------------|-------|
| 9:00 | 9:30 | 10:00 | 12:10 | 13:10 | 17:30 | 17:50 |
| 受付 | お伊勢-ツヨ | ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定 (120) | 昼休み (60分) | ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定 (240) | e-ラーニング* の説明 | |

2 e-ラーニング* 1 (13 時間 15 分)

| | |
|--|----------------------------|
| ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定(165) | 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状(180) |
| ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践(120) | 対人個別援助技術及び地域援助技術(60) |
| ケアマネジメントの演習 「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例(90)」 「入退院時等における医療との連携に関する事例(90)」 「看取り等における看護サービスの活用に関する事例(90)」 | |

① 集合研修 1 日目の受講後すぐに e-ラーニングの視聴を開始することができます。
③ 集合研修 2~3 日目の 1 週間前までに② の 7 課目を e-ラーニングで履修します。未履修の課目がある場合は、原則③に進むことはできません。

3 集合研修 2~3 日目 (14 時間 45 分)

| | | | | | |
|----------------------------------|-----------|------------------------------------|-------|------------------------|-------|
| 9:00 | 12:30 | 13:30 | 15:40 | 15:50 | 18:00 |
| ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定 (195) | 昼休み (60分) | ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践 (120) | 休み | 対人個別援助技術及び地域援助技術 (120) | |

| | | | | | |
|--|-----------|---|-------|---|-------|
| 9:00 | 11:40 | 12:30 | 15:10 | 15:20 | 18:00 |
| ケアマネジメントの演習 「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」 (150) | 昼休み (50分) | ケアマネジメントの演習 「入退院時等における医療との連携に関する事例」 (150) | 休み | ケアマネジメントの演習 「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」 (150) | |

③では、②で学習した内容を踏まえて演習中心の講義を行います。

4 e-ラーニング* 2 (8 時間)

| | |
|------------------------|--|
| ケアマネジメントの実践における倫理(120) | ケアマネジメントの演習 「認知症に関する事例(90)」 「家族への支援の視点が必要な事例(90)」 「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例(90)」 「状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス・施設サービス等)の活用に関する事例(90)」 |
|------------------------|--|

⑤ 集合研修 4~5 日目の 1 週間前までに④の 5 課目を e-ラーニングで履修します。未履修の課目がある場合は、原則⑤に進むことはできません。

5 集合研修 4~5 日目 (14 時間)

| | | | | | |
|-------------------------------|-----------|-------------------------------------|-------|---|-------|
| 9:00 | 11:40 | 12:30 | 15:10 | 15:20 | 18:00 |
| ケアマネジメントの演習 「認知症に関する事例」 (150) | 昼休み (50分) | ケアマネジメントの演習 「家族への支援の視点が必要な事例」 (150) | 休み | ケアマネジメントの演習 「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」 (150) | |

| | | | | | | |
|---|-----------|-----------------------------|-------|------------------------------------|-------|-------|
| 9:00 | 11:40 | 12:30 | 14:40 | 14:50 | 17:00 | 17:20 |
| ケアマネジメントの演習 「状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス・施設サービス等)の活用に関する事例」 (150) | 昼休み (50分) | 個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習 (120) | 休み | 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り (120) | 修了評価 | |

⑤では、④で学習した内容を踏まえて演習中心の講義を行います。

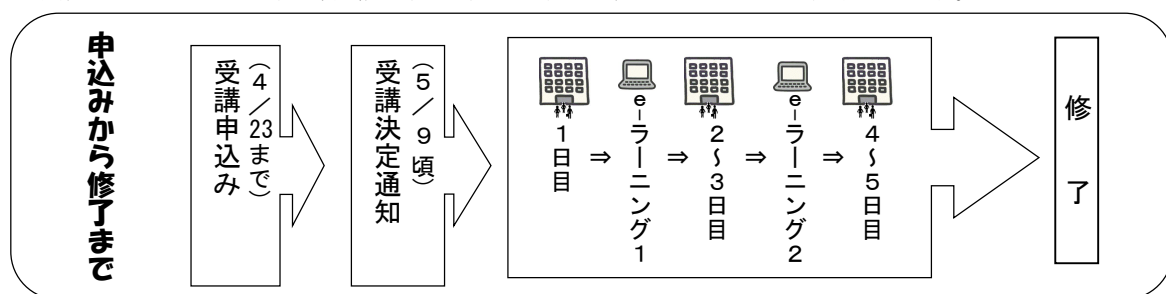
日程表（前頁のプログラムと合わせてご覧下さい）

| グループ (定員) | 集合研修(1日目) | e-ラー ニング 1 | 集合研修(2~3日目) | e-ラー ニング 2 | 集合研修(4~5日目) |
|------------------|---|---------------------|--|---------------|---|
| 札幌 1 (144) | 平成30年6月5日(火) 北海道自治労会館4階4Fホール (札幌市北区北6条西7丁目) | 6/5 ~ 7/10 | 平成30年7月17日(火)・18日(水) 北海道第二水産ビル8階 会議室 (札幌市中央区北3条西7丁目) | ~ 8/16 | 平成30年8月23日(木)・24日(金) ACU1614大研修室(アスティ45 16F) (札幌市中央区北4条西5丁目) |
| 札幌 2 (84) | 平成30年7月19日(木) かでの27 8階 820研修室 (札幌市中央区北2条西7丁目) | 7/19 ~ 8/20 | 平成30年8月27日(月)・28日(火) ACU1606大研修室(アスティ45 16F) (札幌市中央区北4条西5丁目) | ~ 9/24 | 平成30年10月1日(月)・2日(火) 北海道建設会館9階 大ホール (札幌市中央区北4条西3丁目) |
| 札幌 3 (132) | 平成30年8月17日(金) かでの27 4階 大会議室 (札幌市中央区北2条西7丁目) | 8/17 ~ 9/18 | 平成30年9月25日(火)・26日(水) アスティ45ビル 4階アスティホール (札幌市中央区北4条西5丁目) | ~ 10/22 | 平成30年10月29日(月)・30日(火) アスティ45ビル 4階アスティホール (札幌市中央区北4条西5丁目) |
| 札幌 4 (132) | 平成30年10月17日(水) かでの27 4階 大会議室 (札幌市中央区北2条西7丁目) | 10/17 ~ 11/19 | 平成30年11月26日(月)・27日(火) 北海道第二水産ビル8階 会議室 (札幌市中央区北3条西7丁目) | ~ 12/13 | 平成30年12月20日(木)・21日(金) ACU1614大研修室(アスティ45 16F) (札幌市中央区北4条西5丁目) |
| 函館 7 (84) | 平成30年6月16日(土) サンリフレ函館2階 大会議室 (函館市大森町2番14号) | 6/16 ~ 7/20 | 平成30年7月27日(金)・28日(土) 函館北洋ビル8階 大ホール (函館市若松町15-7) | ~ 8/15 | 平成30年8月21日(火)・22日(水) 函館北洋ビル8階大ホール (函館市若松町15-7) |
| 旭川 8 (120) | 平成30年6月19日(火) 旭川市大雪クラブ1F 大会議 室(旭川市神楽3条7丁目) | 6/19 ~ 7/31 | 平成30年8月7日(火)・8日(水) 旭川北洋ビル9階 中ホール (旭川市4条通9丁目1703) | ~ 9/6 | 平成30年9月13日(木)・14日(金) 旭川北洋ビル9階 中ホール (旭川市4条通9丁目1703) |
| 北見 10 (84) | 平成30年7月4日(水) 北見体育センター1階 講堂 (北見市東陵町27) | 7/4 ~ 8/9 | 平成30年8月17日(金)・18日(土) 北見経済センター1階1号室 (北見市北3条東1丁目) | ~ 9/20 | 平成30年9月27日(木)・28日(金) 北見経済センター2階2号室 (北見市北3条東1丁目) |
| 帯広 11 (84) | 平成30年7月10日(火) 北海道新聞社帯広支社2F大ホール (帯広市西4条南9丁目) | 7/10 ~ 8/23 | 平成30年8月30日(木)・31日(金) 帯広経済センター6階大会議室 (帯広市西3条南9丁目1) | ~ 9/27 | 平成30年10月4日(木)・5日(金) 帯広経済センター6階大会議室 (帯広市西3条南9丁目1) |
| 釧路 12 (84) | 平成30年6月13日(水) 北海道新聞社釧路支社5階大 ホール(釧路市黒金町11-5) | 6/13 ~ 7/17 | 平成30年7月24日(火)・25日(水) 北海道新聞社釧路支社5階 大ホール(釧路市黒金町11-5) | ~ 8/28 | 平成30年9月4日(火)・5日(水) 北海道新聞社釧路支社5階 大ホール(釧路市黒金町11-5) |

※ 定員は更新研修(実務経験者)の受講者との合計の人数です。定員を越えた場合は更新の年度に当たる方を優先する場合があります。

※ 定員を超えた会場については、先着順等によりご希望以外の会場に再調整させていただく場合があります。

※ 申込者数が極端に少ない会場は、開催を中止し他の会場に再調整させていただく場合があります。



e-ラーニングについて

- * e-ラーニングでの受講にあたり必要となるパソコン等のインターネット端末、及びインターネット回線は受講者ご自身で用意いただきます。研修開始前までに利用できるようにご準備ください。
- * e-ラーニングは、視聴期間中は24時間、いつでもご都合の良いとき・場所で視聴することができます(個々に配付されるIDとパスワードを使って、その都度、異なる端末で視聴いただけます)。
- * 詳細は弊社ホームページ(URL: <http://www.hit-north.or.jp/care/>)の「e-ラーニング受講に関するよくある質問」をご覧ください。

介護支援専門員 専門研修Ⅱ

[e-ラーニング 11 時間 55 分] + [集合研修 20 時間 05 分 (3 日間)] = 32 時間の履修により修了します。

◆テキストは e-ラーニング配信の数日前にご自宅宛てに郵送します。

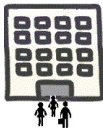
1 e-ラーニング (11 時間 55 分)



介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開(120)
 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表
 「自己事例の作成要領と事例検討の準備について」(35)
 「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」(80)
 「入退院時等における医療との連携に関する事例」(80)
 「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」(80)
 「認知症に関する事例」(80)
 「家族への支援の視点が必要な事例」(80)
 「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」(80)
 「状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス・施設サービス等)の活用に関する事例」(80)

② 集合研修 1～3 日目の 1 週間前までに①の 8 課目を e-ラーニングで履修します。
 未履修の課目がある場合は、原則②に進むことはできません。

2 集合研修 1～3 日目 (20 時間 05 分)



| | | | | | | | |
|------|-----------|---|--------------|---|--------|---|------------------|
| 9:00 | 9:30 | 9:50 | 12:00 | 12:55 | 14:10 | 14:20 | 17:00 |
| 受付 | 机内 →ヨリ | 介護保険制度及び地域包括 ケアシステムの今後の展開 (120) | 昼休み (55分) | ケアマネジメントにおける 実践事例の研究及 び発表 (75) | 休 み | ケアマネジメントにおける実践事例の研究 及び発表「リハビリテーション及び福祉用具 の活用に関する事例」(150) | |
| 9:00 | | 11:40 | 12:35 | 15:10 | 15:20 | | 17:55 |
| | | ケアマネジメントにおける実践事例の研究及 び発表「入退院時等における医療との 連携に関する事例」(150) | 昼休み (55分) | ケアマネジメントにおける実践事例の研究 及び発表「看取り等における看護サ ービスの活用に関する事例」 (145) | 休 み | ケアマネジメントにおける実践事例の研究 及び発表「認知症に関する事例」 (145) | |
| 9:00 | | 11:30 | 12:25 | 14:55 | 15:05 | | 17:35 |
| | | ケアマネジメントにおける実践事例の研究 及び発表「家族への支援の視点が必要 な事例」 (140) | 昼休み (55分) | ケアマネジメントにおける実践事例の研究 及び発表「社会資源の活用に向 けた関係機関との連携に関する事 例」(140) | 休 み | ケアマネジメントにおける実践事例の研究 及び発表「状態に応じた多様な サービス(地域密着型サービス・施設サ ービス等)の活用に関する事例」(140) | 修 了 評 価 |

②では、①で学習した内容を踏まえて演習中心の講義を行います。
 「ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表」では、自己事例(過去の事例も可)の提出が必要
 です(集合研修 1 日目に提出)。

日程表

| グループ | 定員 | 日 程 | | 会 場 |
|-------|-----|------------------------|----------------------------------|--|
| | | e-ラーニング | 集合研修(1～3 日目) | |
| 札幌 1 | 140 | H30/9/15～10/16 | 平成 30 年 10 月 23 日(火)～25 日(木) | アスティ 45 ビル 4 階アスティホール (札幌市中央区北 4 条西 5 丁目) |
| 札幌 2 | 140 | H30/10/6～11/8 | 平成 30 年 11 月 15 日(木)～17 日(土) | アスティ 45 ビル 4 階アスティホール (札幌市中央区北 4 条西 5 丁目) |
| 札幌 3 | 140 | H30/11/3～12/5 | 平成 30 年 12 月 12 日(水)～14 日(金) | 北海道第二水産ビル 8 階 会議室 (札幌市中央区北 3 条西 7 丁目) |
| 札幌 4 | 126 | H30/12/22 ～H31/1/22 | 平成 31 年 1 月 29 日(火)～31 日(木) | かでの 27 4 階 大会議室 (札幌市中央区北 2 条西 7 丁目) |
| 札幌 5 | 140 | H30/6/23～7/24 | 平成 30 年 7 月 31 日(火)～8 月 2 日(木) | アスティ 45 ビル 4 階アスティホール (札幌市中央区北 4 条西 5 丁目) |
| 札幌 6 | 91 | H30/8/3～9/3 | 平成 30 年 9 月 10 日(月)～12 日(水) | 北海道建設会館 9 階 大ホール (札幌市中央区北 4 条西 3 丁目) |
| 函館 7 | 126 | H30/9/8～10/9 | 平成 30 年 10 月 16 日(火)～18 日(木) | 函館北洋ビル 8 階大・小ホール (函館市若松町 15-7) |
| 旭川 8 | 133 | H30/9/15～10/17 | 平成 30 年 10 月 24 日(水)～26 日(金) | 旭川北洋ビル 8 階大ホール (旭川市 4 条通 9 丁目 1703) |
| 旭川 9 | 133 | H30/8/11～9/12 | 平成 30 年 9 月 19 日(水)～21 日(金) | 旭川北洋ビル 8 階大ホール (旭川市 4 条通 9 丁目 1703) |
| 北見 10 | 91 | H30/9/22～10/24 | 平成 30 年 10 月 31 日(水)～11 月 2 日(金) | 北見経済センター 1 階 1 号室 (北見市北 3 条東 1 丁目) |
| 帯広 11 | 133 | H30/10/13～11/13 | 平成 30 年 11 月 20 日(火)～22 日(木) | とちか館 2 階「鳳凰の間」 (帯広市西 7 条南 6 丁目 2) |
| 釧路 12 | 98 | H30/9/1～10/3 | 平成 30 年 10 月 10 日(水)～12 日(金) | 道東経済センター 5 階大会議室 (釧路市大町 1 丁目 1-1) |

※定員は更新研修(実務経験者)との合計の人数です。定員を越えた場合は更新の年度に当たる方を優先する場合があります。
 ※定員を超えた場合、または申込者が極端に少ないため開催を中止した場合には、他の会場に再調整させていただきます。

平成 30 年度 介護支援専門員 専門研修課程 I 受講申込書

■受講希望者本人が記入して下さい（正確にご記入ください）。

（記入日 年 月 日）

| | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---|---|--------------|---|--|---|----------|-------------------|----------------|--|
| 申込者 | ふりがな | | | | 性別 | 1 男 2 女 | 生年 月日 | （※西暦） 19 年 月 日 | | |
| | 氏名 | | | | | | | | | |
| | 介護支援専門員証及び実務経験について | 登録番号(8桁) | | | | | | 経験年数(通算) | (記入日現在) 年 月 | |
| | | 介護支援専門員証の有効期間満了日 | 年 | 月 | 日 | ※介護支援専門員証(有効期間満了日の記載されたもの)のコピーを添付して下さい。 | | | | |
| | 主任介護支援専門員について | あなたは、主任介護支援専門員ですか * 1～3のいずれかに○を付け、1の場合は()に修了年度を記入 1 はい(平成____年度に主任介護支援専門員研修を修了) 2 いいえ(今年度の主任介護支援専門員研修を受講予定) 3 いいえ(今年度は主任介護支援専門員研修を受講しない) | | | | | | | | |
| | 自宅住所 | 〒□□□-□□□□ | | | 北海道 | | (市・町・村) | | | |
| 自宅TEL | - | | | - | | /携帯電話 | | - | | |
| 勤務先 | 事業所名 | *現在、介護支援専門員として勤務している事業所又は施設名を記入してください(記入のない場合は受講不可)。 | | | | | | | | |
| | 所在地 | 〒□□□-□□□□ | | | 北海道 | | (市・町・村) | | | |
| | TEL/FAX | TEL - - /FAX - - | | | ※日中の勤務先を記入 | | | | | |
| 希望の受講日程 | | | グループ(開催地・番号) | | | | | グループ(開催地・番号) | | |
| | 第1希望 | (開催地) | (番号) | | 第3希望 | (開催地) | (番号) | | | |
| | 第2希望 | (開催地) | (番号) | | 【グループ】例:「札幌 1」、「北見10」などの(開催地)と(番号)を記入してください。 | | | | | |
| 所属する事業所の種類 | 現在の職場に該当する種別の番号に○を付けて下さい。 1 居宅介護支援事業所 2 特定施設入居者生活介護に係る居宅サービス事業者 ○地域密着型サービス事業者[3 小規模多機能型居宅介護 4 看護小規模多機能型居宅介護 5 認知症対応型共同生活介護 6 地域密着型特定施設入居者生活介護 7 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護] ○介護保険施設[8 介護老人福祉施設 9 介護老人保健施設 10 介護療養型医療施設] 11 介護予防特定施設入居者生活介護に係る介護予防サービス事業者 ○地域密着型介護予防サービス事業者[12 介護予防小規模多機能型居宅介護 13 介護予防認知症対応型共同生活介護] 14 介護予防支援事業者 15 地域包括支援センター 【その他】16 上記以外の業種に勤務 17 無職または学生 | | | | | | | | | |
| 主な基礎資格 | 1 医師 2 歯科医師 3 薬剤師 4 保健師 5 助産師 6 看護師 7 准看護師 8 理学療法士 9 作業療法士 10 あん摩マッサージ指圧師 11 はり師 12 きゅう師 13 栄養士(管理栄養士) 14 義肢装具士 15 言語聴覚士 16 歯科衛生士 17 視能訓練士 18 柔道整復師 19 社会福祉士 20 介護福祉士 21 精神保健福祉士・相談援助従事者 22 その他介護職 23 その他() | | | | | | | | | |
| 身体障がい等のため、受講時の配慮を希望する場合、内容を具体的に記入下さい | | | | | | | | | | |

【個人情報について】・本研修の「申込書」等各種添付書類に記載された個人情報については、適正に管理を行い、北海道介護支援専門員専門研修 I 及び名簿登録・修了証明書発行業務以外の目的に使用することはありません。
・申込書等の記載内容に不明な点があり、ご本人にも確認が取れない場合、当会から北海道へ照会を行うことがあります。
・本申込によって介護支援専門員証の登録事項(住所・氏名等)の変更届を行うことはできません。

| | | | | | |
|------------|------|----|------|-----|------|
| 事務局 使用欄 | 特記事項 | 出欠 | 受講決定 | 受付日 | 受付番号 |
| | | | | | |

平成 30 年度 介護支援専門員 専門研修課程Ⅱ 受講申込書

■受講希望者本人が記入して下さい（正確にご記入ください）。

（記入日 年 月 日）

| | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---|--|------|---|--|---|-----------|-------------|--|
| 申込者 | ふりがな | | | | | 性別 1 男 2 女 | 生年 月 日 | （※西暦） | |
| | 氏 名 | | | | | | | 19 年 月 日 | |
| | 介護支援専門員証及び実務経験について | 登録番号(8桁) | | | | | 経験年数(通算) | (記入日現在) 年 月 | |
| | | 介護支援専門員証の有効期間満了日 | 年 | 月 | 日 | ※介護支援専門員証(有効期間満了日の記載されたもの)のコピーを添付して下さい(全員必須)。 | | | |
| | 主任介護支援専門員研修について | あなたは、主任介護支援専門員ですか * 1～3のいずれかに○を付け、1の場合は()に修了年度を記入 1 はい(平成 年度に主任介護支援専門員研修を修了) 2 いいえ(今年度の主任介護支援専門員研修を受講予定) 3 いいえ(今年度は主任介護支援専門員研修を受講しない) | | | | | | | |
| | 自宅住所 | 〒 □ □ □ - □ □ □ □ 北海道 (市・町・村) | | | | | | | |
| 自宅TEL | - - /携帯電話 - - | | | | | | | | |
| 勤務先 | 事業所名 | * 現在、介護支援専門員として勤務している事業所又は施設名を記入してください(記入のない場合は受講不可)。 | | | | | | | |
| | 所在地 | 〒 □ □ □ - □ □ □ □ 北海道 (市・町・村) | | | | | | | |
| | TEL/FAX | TEL - - /FAX - - ※日中の勤務先を記入 | | | | | | | |
| 希望の受講日程 | | グループ(開催地・番号) | | | グループ(開催地・番号) | | | | |
| | 第1希望 | (開催地) | (番号) | | 第3希望 | (開催地) | (番号) | | |
| | 第2希望 | (開催地) | (番号) | | 【グループ】例:「札幌 1」、「旭川 9」などの(開催地)と(番号)を記入してください。 | | | | |
| 所属する事業所の種類 | 1 居宅介護支援事業所 2 特定施設入居者生活介護に係る居宅サービス事業者 ○地域密着型サービス事業者[3 小規模多機能型居宅介護 4 看護小規模多機能型居宅介護 5 認知症対応型共同生活介護 6 地域密着型特定施設入居者生活介護 7 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護] ○介護保険施設[8 介護老人福祉施設 9 介護老人保健施設 10 介護療養型医療施設] 11 介護予防特定施設入居者生活介護に係る介護予防サービス事業者 ○地域密着型介護予防サービス事業者[12 介護予防小規模多機能型居宅介護 13 介護予防認知症対応型共同生活介護] 14 介護予防支援事業者 15 地域包括支援センター 【その他】 16 上記以外の業種に勤務 17 無職または学生 | | | | | | | | |
| 主な基礎資格 | 1 医師 2 歯科医師 3 薬剤師 4 保健師 5 助産師 6 看護師 7 准看護師 8 理学療法士 9 作業療法士 10 あん摩マッサージ指圧師 11 はり師 12 きゅう師 13 栄養士(管理栄養士) 14 義肢装具士 15 言語聴覚士 16 歯科衛生士 17 視能訓練士 18 柔道整復師 19 社会福祉士 20 介護福祉士 21 精神保健福祉士・相談援助従事者 22 その他介護職 23 その他() | | | | | | | | |
| 身体障がい等のため、受講時の配慮を希望する場合、内容を具体的に記入下さい | | | | | | | | | |

【個人情報について】・本研修の「申込書」等各種添付書類に記載された個人情報については、適正に管理を行い、北海道介護支援専門員専門研修Ⅱ及び名簿登録・修了証明書発行業務以外の目的に使用することはありません。
・申込書等の記載内容に不明な点があり、ご本人にも確認が取れない場合、当会から北海道へ照会を行うことがあります。
・本申込によって介護支援専門員証の登録事項(住所・氏名等)の変更届を行うことはできません。

| | | | | | |
|------------|------|----|------|-----|------|
| 事務局 使用欄 | 特記事項 | 出欠 | 受講決定 | 受付日 | 受付番号 |
| | | | | | |